

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 229 号 2017. 5. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

お茶摘み 2017 市川生産グループ

5月7日(日)、静岡県伊東市宇佐美の畑にて収穫、参加者29名、収量96.7kg。

ほっとする間もなく5月20日(土)、伊豆の国市の長者原の畑、参加者32名、地主の杉山さんご家族もお手伝いくださいました。

この長者原の畑は昨年、茶毒蛾が発生し、特に在来種の畑は見るも無残な茶木になってしまいました。宇佐美の畑のほうが手が掛かるため、長者原は手をぬいて、教えていただいている「土を尊び、土を愛す」とは離れたものになり、深耕も怠っていました。そんなとき、地主さんより「自然農法って何なんでしょうね」と問われ、答えに窮してしまいました。

そのことがあり、それから2回は畑に行くようになり、茶木の根元からまっていたチガヤや、つる草などを徹底的に取ることによって、畑がよみがえってきました。目標である乾燥一釜分(最低80kg)を収穫することができるか心配していましたが、94.2kg、思いもよらない収量でした。(昨年は84.4kg)。在来種の芽は最近小さかったので、「今回、こんな大きな芽を見たのは初めて」の声も。

今年の茶葉の生育は両方の畑とも良かったのですが、手摘みだけでは限界がありますので、他の方法も考え、より多くの収量をめざしたいと思いました。無施肥無農薬のお茶をまだ味わったことのない方々がお飲みくださることを願っています。(市川生産スタッフ:飯塚)



長者原にて

お茶摘み 2017 三六九会

5月20日(土)、埼玉県入間市の三六九会農園のお茶摘みに参加しました。晴天に恵まれ、小さいお子さんも含め54名の参加者で、収量は168.8kgでした。

今まで収量の良かった木を3列、台刈り(新しい芽を出させるために根元から切る)したうえ、春からの新芽の伸びも、まばらだったため、係の方は、今年の収量は100kgを超える程度かと予想していましたが、去年を少し下回ったくらいでした。



周囲の慣行農法のお茶畑も今年は伸びが悪かったらしいのですが、三六九会の茶葉は、隣の農家の方からも、お茶工場の方からも評価が良かったそうです。

また、去年の11月に雪が降ったとき、責任者の高畑さんが翌日に茶畑を見に行くと、周囲の畑は真っ白なのに、三六九会の畑だけは雪が溶けていたというお話も聞きました。自然農法は地熱が高いという証拠だと思いました。(編集部:田村)

ワークショップ in 三咲公民館

千葉県 渡辺由美

5月14日(日)、船橋市三咲公民館にて、第1回ワークショップ「自然農法を学び 作物を味わう会」を開催いたしました。当日はスタッフを含め12名の参加でした。

もともと食に関心があって、「お話が楽しみだわ」と、いろんなセミナーに勉強に行かれている女性、昨年たまたま入ったカフェで、食のことで意気投合し、チラシを置かせていただいたオーナーさん、「料



理は苦手だけど、美味しいものを食べたい」という友人、「一人暮らしだから、つつい手抜き料理になるし、糀の使い方を知りたい」という女性、「フェイスブックで、船橋で自然の食材を探していたら、渡辺さんにヒットして、ワークショップでどんなことを話されるか聞いてみたいし、会ってみたい」と思ったという食品卸業を営んでいる女性、いろんな方が集まってくださいました。

初めに、自然農法とは?という資料を活用しながら、また体験を交えながらの座学を約30分させていただきました。

メニューは、大豆以外はほとんど渡辺農園の野菜でまかなうことができました。調味料は糀で作ったもの、無添加のものを使用しました。調理も、キャベツを丸ごと茹でたり、こんな簡単でいいの、というものばかり。自然農法の大豆で作った豆乳とおからも大好評でした。豆乳アレルギーの方がいらして、無理なくてもいいですよ、とお話しましたが、「この豆乳は大丈夫そう」と言って、豆乳がたっぷり入ったスープも完食されました。「ご飯も美味しくて、おかわりしたの久しぶりよ」と、うれしい言葉も聞けました。ボリュームも心配でしたが、「セブランチだわ」「満足感あるわね」と、皆笑顔で会話も弾み、後片付けもテキパキと手伝ってくださり、手を動かしながら、おしゃべりも尽きない感じでした。

初めての場所で、初対面の方もいらっしゃいましたが、「来て良かったわ」と、何よりの言葉に、「させていただいて良かった」と思いました。スタッフからも、「とても良い刺激を受けました」との声が聞けました。次回は7月9日(日)を予定しています。

自然農法のほうじ茶で愛犬も元気に!

栃木県 齋藤 彩



2014年3月、動物愛護センターから、生後3カ月のメスのミックスをもらってきました。その犬を「ラピス」と名付けました。

2016年ごろより、ときどき下痢をするようになり、5月13日、嘔吐し、様子がおかしいため、ラピスを病院に連れていきました。「腸が動いていない」と言われ、即入院となってしまいました。急性肝炎と脂肪肝、腸がこのまま動かないようなら、腸閉塞で死ぬ可能性もあると言われました。その後、医療的処置をしていただき、腸が動きはじめ、肝臓の数値も正常値までになりました。しかし、これは薬で数値が下がっているだけで、病気が根本的に治っているわけではないと思いました。これ以上病院に通って、薬に頼るのは良くないと思い、どうしたらいいかと考えたとき、私たち家族が毎日飲んで、健康にしている無施肥無農薬のほうじ茶をラピスに飲ませてみたらいいのではないかと思います。最初は、なかなか飲んでくれなかったのですが、今ではほうじ茶が大好きになり、たくさん飲んでくれます。すると不思議なことに、おしっこが薬臭く、ラピスの体内の不必要なものを出してくれて、健康になっているようです。ほうじ茶を飲ませてから約1年がたちますが、下痢や嘔吐などせず、今日も元気です。

お知らせ

- ★ ほっと緑市 6月4日(日) 赤羽公園 10:00~15:00
- ★ 自然農法頒布会 6月18日(日) 東中野会場 10:00~ 売り切れ次第終了
- ★ 自然農法頒布会 6月21日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了
- ★ 自然農法勉強会 6月22日(木) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

6月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 新茶(10g入り160円の小袋も有り)、ほうじ茶(30パックも有り)、ほうじ茶ティーバック
- 長柄山自然農園: 卵、燻製卵、ひき肉 ● きじま平自然農産: 自然米、納豆、甘納豆
- 菜園金野: 大根、小松菜、キャベツ、スナップエンドウ
- 中島農園: フキ、小松菜、自然のりんごチップ
- ジョリフィユ: みかんジュースゼリー、プリン、焼き菓子 他

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>